

## 基本方針5

それでは、基本方針5グループの評価結果の概要と感想等につきまして、グループを代表して発表いたします。

基本施策5 1「学校教育の充実」につきましては、成果指標が保護者の学校教育に対する満足度のみとなっておりますが、学校教育の主体である児童・生徒の満足度を重視した方が良いのではと考えます。また、調査の内容や結果をホームページに載せるなど、広く情報の発信をお願いします。

学力学習状況調査結果については、平均と同程度であるとのことですが、学力の高い都道府県は、児童生徒の生活リズムが確立しているところが多いので、各家庭と連携し、生活リズムを確立させる取組に努めていただきたいと思います。

また、児童生徒の体力については、将来の健康にも影響してくるため、体育の授業改善のみに留めず、休み時間の過ごし方や登下校など、学校生活全般において改善に繋げるような取組を図っていただきたいと思います。

次に、基本方針5 2「生涯学習の充実」の成果指標である施設利用者や講座受講者の満足度は、若干目標値を下回る数値となっておりますが、市内の施設においては多種多様な社会教育施設が点在しており、利用対象の範囲等が分かりづらいことから、利用の仕方や利用者の範囲を明確にし、十分に周知することが必要であると思います。

また、講座やイベント等において、人との交流を図ることが高齢者の孤立を防ぐことにも繋がるので、気軽に参加できる講座環境の構

築を図っていただきたいと思います。

単位施策では、「とちぎ未来アシストネット事業」の目的や活用方法、活用内容がうまく周知されておらず、市民の認知度が低いと思われます。活動実績も含め広く発信し、認知度の向上や事業への理解を深めていただきたいと思います。

次に、基本方針53「スポーツの推進」につきましては、スポーツへの興味を高めるには、体験や観戦等楽しむ機会の場が必要であると思います。昨年、オリンピック開催前に、他国の強化選手の合宿地となったことや本県において国体の開催があったこと等は、スポーツへの興味を持つ良い機会であったかと思えます。

また、コロナの感染対策により地域のスポーツイベントが減少し、地域内でのチームワークや交流が図れる機会が少なくなり残念に思っていました。今後、新たな形でのイベントへの開催が検討されていると伺いましたので期待したいと思っております。

スポーツ施設の老朽化が著しい状況にあり、ストック適正化計画に沿った施設の改修、また、新規施設の整備を検討いただき、快適なスポーツ環境を構築いただきたいです。

なお、人々の健康志向はコロナ禍を境に向上されていると思えます。新しいスタイルでの子どもから高齢者、障がいを持つ方等多くの方が参加できる事業の展開をお願いしたいと思えます。

最後に、基本方針54「文化の振興」であります。文化の保存や継承についての課題は後継者及び担い手不足など、各地域では深刻であり、外部の力を必要とする時期に来ていると思えますので、市が

関与しその仕組みを構築していくべきと考えます。

また、単位施策では、文化会館や美術館等の入場者数が成果指標となっておりますが、どちらも目標に達していない状況にあります。

文化会館においては、利用者が特定の団体に限られているため、利用しやすい仕組み作りの取組が必要と思われれます。また、美術館においては、他市のように目玉となる展示を行うなど、集客に向けた取組の強化を図っていただきたいと思ひます。

以上で基本方針5のグループの報告を終わります。